

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年06月30日

計画の名称	坂井市における循環のみちの実現その2												
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	坂井市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,789	A	1,789	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28	H30	H32
1	下水道処理人口普及率を96%(H28)から99%(H32)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道処理人口(人)/行政区域内人口(H26末 93,099人)	96%	97%	99%
2	比較的整備時期が早かった三国地区の管路から改築更新工事に着手し、順次他地区へ事業推進させ、管路の耐震化を0%(H28)から100%(H32)に増加させる。 管路の耐震化 耐震化を必要とする汚水管路延長(m)/耐震化を必要とする総汚水管路延長(2,665m)	0%	50%	100%
3	継続的な機能の確保とライフサイクルコストの軽減を図るためストックマネジメント計画を策定する。 ストックマネジメント計画の策定率 策定済の計画数(計画)/H32年度末までに策定が必要な計画数(1計画)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	坂井市	直接	坂井市	管渠(汚水)	新設	新設 丸岡・春江・坂井処理区	汚水管 75~200mm L=11km	坂井市						1,464		-	
	A07-002	下水道	一般	坂井市	直接	坂井市	管渠(汚水)	改築	管路の改築・耐震化 三国処理区	汚水管 200mm~ L=2.6km	坂井市						225		策定済	
	長寿命化																			
	A07-003	下水道	一般	坂井市	直接	坂井市	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント計画 三国・丸岡・春江・坂井処理区	ストックマネジメント計画策定		坂井市						100		未策定
	ストックマネジメント計画																			
												小計						1,789		
											合計							1,789		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 坂井市上下水道課内で評価を実施	事後評価の実施時期 令和3年6月
	公表の方法 坂井市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備人口普及率が平成28年度当初実績値 97.9% から 令和2年度末最終実績値 98.9% に向上したことにより、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全に寄与した。 ・寿命化対策の実施により、三国地区の管渠の改築更新・耐震化を行い、安全・安心な市民生活の確保に寄与した。 ・継続的な機能の確保とライフサイクルコストの軽減を図るため、下水道ストックマネジメント基本計画およびストックマネジメント修繕計画(ポンプ場等)の策定できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
<p>令和3年度から新たな社会資本総合整備計画である「坂井市における循環のみちの実現その3」において、次の事業を実施し、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道処理人口普及率100%に増加させる。 ・汚水中継ポンプ場および雨水ポンプ場において耐水化対策を実施する。 ・ストックマネジメント修繕計画(ポンプ場等)に基づき、下水道施設の改築更新を行う。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道整備人口普及率（%） = 下水道整備人口（89,525人） / 総人口（90,491人）	
	最終目標値	99%
	最終実績値	99%
2	耐震化を実施した汚水管路延長（2,665m）/耐震化を必要とする総汚水管路延長（2,665m）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	策定済の計画数（1計画）/H32（令和2年）までに策定が必要な計画数（1計画）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%